

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	【留】日本語基礎ⅡA(0592)
科目基礎情報					
科目番号	2Z26		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース	対象学年	2		
開設期	春学期(1st-Q)		週時間数	1st-Q:8	
教科書/教材	『中級』シリーズ、『漢字 LOOK AND LEARN』シリーズ、『総まとめN3漢字』『総まとめN3語い』。				
担当教員	馬場 亜紀子,東海林 恵子				
到達目標					
1. 基礎的かつ実践的な文法・漢字・語彙を習得する。(中級文法、語彙6000語、漢字1000) 2. 高専生活で実際に直面する話題について、主要点を聞き取ったり、読み取ったりすることができる。 3. 身近な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	基礎的かつ実践的な文法・漢字・語彙を80%以上理解できる。		基礎的かつ実践的な文法・漢字・語彙を60%以上理解できる。		基礎的かつ実践的な文法・漢字・語彙の理解が60%に満たない。
評価項目2	高専生活で実際に直面する話題について、主要点を聞き取ったり、読み取ったりすることが、明確にできる。		高専生活で実際に直面する話題について、主要点を聞き取ったり、読み取ったりすることが、ある程度できる。		高専生活で実際に直面する話題について、主要点を聞き取ったり、読み取ったりすることが、できない。
評価項目3	身近な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できる。		身近な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できる。ただし、不慣れな印象やきこちなさを与えることもある。		身近な話題について、まとまりのあるディスコースを産出できない。
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 ○					
教育方法等					
概要	基礎的かつ実践的な文法・漢字・語彙を学習する。また、この内容をもとに実際の使い方を練習する。				
授業の進め方・方法	【文法】週2回 - 授業の中で適宜、語彙・文法の小テストを行う。 【漢字】週2回 - 授業の中で適宜、漢字の小テストを行う。				
注意点	・宿題や課題の提出期限を厳守する。正当な理由なく提出が遅れた場合、評価を減ずる。 ・長期休暇中の宿題・課題も成績に含まれる。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 『中級グリーン』L1 ※前半は学習項目・学習項目の練習。後半はその他(短作文・作文は適宜HWとして出題する)。以下、同様。 『漢字 LOOK AND LEARN』L31		
		2週	漢字・初回授業 『漢字 LOON AND LEARN』漢字小テスト①L31 『中級グリーン』L1-2 『漢字 LOOK AND LEARN』L32		
		3週	漢字・初回授業 『漢字 LOON AND LEARN』漢字小テスト②L32 『中級グリーン』L2 『総まとめN3漢字』W4		
		4週	『中級グリーン』L3 『総まとめN3語い』W4		
		5週	漢字・初回授業 『総まとめN3、W4』漢字小テスト③(漢字・語いW4) 『中級グリーン』L3-4 『総まとめN3漢字』W5		
		6週	『中級グリーン』L4 『総まとめN3語い』W5		
		7週	漢字・初回授業 『総まとめN3、W5』漢字小テスト④(漢字・語いW5) 時間調整・復習		
		8週	中間試験とフィードバック		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	到達度試験		小テスト	宿題・課題の提出	合計

総合評価割合	60	0	30	10	0	0	100
基礎的能力	60	0	30	10	0	0	100